

自主防災組織活動 ガイドブック



はじめに

近年、地球温暖化による集中豪雨や台風などによる被害が全国各地で発生しており、堺市におきましても、平成20年9月5日に堺市での観測史上最多の時間雨量93.5ミリのゲリラ豪雨により、床上・床下浸水などの被害が発生いたしました。

また、平成7年に発生した阪神・淡路大震災をはじめ、最近では岩手・宮城内陸地震など、全国各地で大規模な被害が繰り返し発生しています。

今後30年以内に60～70%という高い確率で発生が予測されている東南海・南海地震や、特に大阪府を縦断する上町断層帯地震が発生した場合、堺市にも非常に大きな被害をもたらすと言われていています。

ひとたび、このような大規模災害が発生すると、電気・ガス・水道などといったライフラインが使用不能となるだけでなく、消防等の公的防災関係機関による救助などに著しい制限が発生します。

阪神・淡路大震災では、地域の力により、多くの方々の命が救われました。その教訓からも、自分や家族、地域住民の生命、身体を守り、被害を最小限に抑えるためには、「自助・共助」の精神にもとづく地域の力である自主防災組織の活動が不可欠であるということは言うまでもありません。

現在、各校区において自主防災組織が結成され、地域の実情に応じた積極的な活動が進められておりますが、「自助・共助」の精神に基づく自主防災活動をさらに活性化するためには、自主防災組織が自ら防災訓練や研修会の企画・実施、防災資器材の充実など、いかに活動すればよいかについて地域の皆さんで考え、繰り返し実践していただくことが大切です。

そこで、地域における自主防災活動をより一層充実させるための参考として、本冊子をご活用いただき、時期はわかりませんが将来必ず発生する大規模災害に備えてくださいますようお願いいたします。



堺市長 竹山 修身

目次

第1章 自主防災組織とは

1-1. 自主防災組織の活動の必要性 ～隣近所のつながりの大切さ～	
①自主防災組織の役割	1
②リーダーの役割	2
1-2. 自主防災組織の活動計画と組織編成	
①活動目標の設定と計画の策定	3
②組織の編成例	5

第2章 平常時の活動

2-1. 家庭内での対策	
①住まいの耐震診断・耐震改修	7
②家具の転倒防止	8
③非常持ち出し品の備え	8
2-2. 地域における防災啓発	
①防災知識の普及・啓発活動	10
②地域の防災巡視・防災点検	11
③地域の危険箇所などの把握と防災マップの作成	12
④防災資器材の整備	13
2-3. 防災訓練等	
①防災訓練の実施	14
②個別訓練	14
③総合訓練	15
④図上訓練	15
2-4. 地域防災連携	
①他の組織や団体等との連携	18
②災害時要援護者支援対策	19

第3章 災害発生時の活動

3-1. 地震編	
①地震災害時の活動時系列	20
②地震災害時活動のポイント	21
3-2. 風水害編	
①風水害時の活動	22
3-3. 避難所運営	
①避難所の運営	23
②指定避難所と災害地区班員	25

第4章 情報伝達体制

4-1. 防災行政無線	
①設置目的	29
②防災行政無線同報系屋外スピーカー放送	30
4-2. おおさか防災ネット堺市	
①おおさか防災ネットポータルサイト	31
②防災情報メール	31
4-3. 堺市防災テレメータシステム	31

(参考) 堺市地震災害想定	32
---------------	----

堺市行政機関一覧	表紙裏
----------	-----